

日めぐり随筆

「初夏の広島県・瀬戸内巡り」

中森 康友



という。魅力的な島は無数です—と聞けば気持ちも高揚してくる。山陽新幹線福山駅で下り車で国産レモン発祥の地、生口島（いくちじま）の瀬戸田へ。乗船した瀬戸内海汽船の観光船は、大手旅行社の観光客でほぼ満席。茨城県から来た

広島県の瀬戸内沿いで展開されるJR西日本の観光キャンペーンにひかれて島めぐりを思い立つ。瀬戸内海の海図に点在する「島々の数」は外周0・1キロ以上で727島（海上保安庁調査）があり、県別では広島県がダントツの142島



というシニア女性は「やっ」と予約がとれて憧れの島めぐりです」と満面笑顔だ。船は島々を縫い呉港までの約3時間余の航路だが、途中、約90分の上陸散策となる御手洗（みたらい）島は興味深い。江戸期に船の風待ち汐待ちでにぎわい往時の石橋、高灯籠など港町の生活様式がそのまま残る。国の伝統的建造物保存地区にふさわしい。電柱の無い町屋の狭い通りで映画やCMのロケが行われている。島の名は大宰府に向かう折りに立ち寄った菅原道真公が手を洗ったという古事から名付けられたとか。遊覧船は絶景ポイントの安芸灘大橋や平清盛が開削させたという音戸の瀬戸を通過して呉港へ。日没時刻に合わせ海上自衛隊の艦船が一斉

に行う降旗式を軍港巡りの遊覧船で見る。翌日は日本遺産指定の尾道市内を散策。ロープウェイで千光寺公園頂上へ上がる。やたらと猫に出会うが恋人の聖地にもなり全国から若者たちを集めている。次に竹原市へ向かい350年前の江戸情緒に包まれた町並みを歩く。塩田経営で成功した問屋、生産者の豪壮な白壁造り、竹矢来の佇まいが見事だ。NHK朝ドラ「マッサン」でウチスキーの父のモデル、竹鶴征孝の生家・竹鶴酒造がある。そばの公園に2年前、征孝、リタ夫妻の銅像が建てられ、全国へアピールしている。問い合わせ、広島県観光連盟、電話082・221・6516。

（旅行ジャーナリスト）